

団体各位

平成 23 年 5 月 9 日

明 治 大 学 雄 辯 部
明 治 大 学 雄 辯 部 代 表 倉 林 正 弥
第 十 五 回 紫 紺 杯 実 行 委 員 長 石 塚 啓
同 副 実 行 委 員 長 倉 林 正 弥

第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会開催のお知らせ

本封筒には、下記の書類が入っております。書類に不備がないかどうかご確認くださいようお願いいたします。

記

- ・ 第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 開催のお知らせ
- ・ 第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 趣意書
- ・ 第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 企画書
- ・ 第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 大会要項
- ・ 第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 出場申込書 (2 枚)

以上

団体各位

平成 23 年 5 月 9 日

明 治 大 学 雄 辯 部
明 治 大 学 雄 辯 部 代 表 倉 林 正 弥
第 十 五 回 紫 紺 杯 実 行 委 員 長 石 塚 啓
同 副 実 行 委 員 長 倉 林 正 弥

第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 大会趣意

ベルリンの壁が崩壊し、ソ連邦が崩壊したのは今から約20年前のことです。これによって、60年代に全盛を極めた学生運動は一部の大学を除きほとんど消滅しました。過激な学生運動に対する反動なのでしょうが、60年代には「ノンポリ」といわれ嘲笑された「社会・政治に対して興味関心のない学生」が、今では大学生の主流となっています。

それでは、社会問題は存在しなくなったのでしょうか。いや、我々の前に存在する社会問題は尽きることを知りません。世界には、全人類を賄う食糧が存在するにもかかわらず、世界の7人に1人は飢餓に苦しんでいます。世界中の人が平和を望んでいるにもかかわらず、戦火は地球上から消えることがありません。世界の至る所で大量生産大量消費が続けられる一方で、環境破壊は地球上に様々な「結果」として表れています。

そのような様々な社会問題を、我々は弁論という方法をもって問題点をえぐり出し、その解決策を聴衆に訴えてきました。そもそも、我々はなぜ弁論をするのかといえば、自らの「社会正義」を聴衆に訴え、それに対する賛同を得ることによって、そこから社会を突き動かすためです。そして、社会を動かすことによって、自らの「理想の社会」を実現することを目指しています。

ところが、今、弁論の意義が問われています。弁論以外にも「社会正義」を訴える手段はあり、特にインターネットの普及によって「社会正義」を訴えることは容易になりました。インターネットは、かつては容易ではなかった個人単位での情報発信を行えるからです。しかし、弁論はインターネットとは違い、弁士の熱い情熱をもって「直接」聴衆に訴えることができます。歴史が証明しているように、画面を通してのコミュニケーションよりも、「直接」的に訴える方が、弁士はより多くの聴衆から共感を得ることができるはずです。ならば、コミュニケーション手段の多様化が進む今においてもなお、「社会正義」を「直接」訴える場として弁論大会の意義は変わっていません。

本大会における弁士の熱い情熱が聴衆を突き動かし、それが社会変革の力となることを願っております。

以上

団体各位

平成 23 年 5 月 9 日

明 治 大 学 雄 辯 部
明 治 大 学 雄 辯 部 代 表 倉 林 正 弥
第 十 五 回 紫 紺 杯 実 行 委 員 長 石 塚 啓
同 副 実 行 委 員 長 倉 林 正 弥

第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 企画書

名 称：第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会

主 催：明治大学雄辯部

日 時：平成 23 年 6 月 18 日（土） 開場 9 時 00 分 開会 9 時 30 分

会 場：明治大学 駿河台キャンパス 120 周年記念館リバティータワー 1021 教室

内 容：全国の大学生弁士を招いての弁論大会

大会規定：弁論の主題・・・自由とする

持ち時間・・・弁論 10 分 11 分打ち切り

(超過した場合は各審査員の得点から 1 点減点)

質問時間・・・15 分

(関連質問 1 回、質問者は 1 分以内に質問を行うこと)

審査基準：論旨 20 点 質疑応答 12 点 声調態度 8 点

弁 士：最大 2 名まで（ただし、大会要項第 7 項に基づく審査員が参加すること）

公募人数：10 名程度

表 彰：優勝・・・紫紺杯、表彰盾

準優勝・・・表彰盾

3 位・・・表彰盾

聴衆賞・・・表彰盾

レセプション：プロントお茶の水店 参加費 1500 円

以上

団体各位

平成 23 年 5 月 9 日

明 治 大 学 雄 辯 部
明 治 大 学 雄 辯 部 代 表 倉 林 正 弥
第 十 五 回 紫 紺 杯 実 行 委 員 長 石 塚 啓
同 副 実 行 委 員 長 倉 林 正 弥

第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会 大会要綱

- 1、日時 平成 23 年 6 月 18 日（土） 開場 9 時 00 分 開会 9 時 30 分
- 2、会場 明治大学 駿河台キャンパス 120 周年記念館リバティタワー 1021 教室
- 3、大会規定 弁論の主題・・・自由とする
持ち時間・・・弁論 10 分 11 分打ち切り
(超過した場合は各審査員の得点から 1 点減点)
質問時間・・・15 分
(関連質問 1 回、質問者は 1 分以内に質問を行うこと)
 - ・質問者は、はじめに氏名と所属団体を述べなくてはならない。
 - ・何人も司会者ならびに司会者が発言を許可した者の発言を妨げてはならない。不規則発言はこれを妨げない程度に認める。
 - ・自分の所属する団体の弁士に対する質問は認めない。
 - ・司会者は出席者がこの規定に違い、その他、会場の秩序を乱すときはこれを停止しまたは退場を命ずることができる
- 4、出場条件 大会要項第 7 項に基づく審査員が参加すること。弁士数は最大 2 名まで（調整あり）
- 5、応募方法 同封の「出場申込用紙」に必要事項を記入し、6 月 1 日必着で下記の住所にご発送ください。
明治大学雄辯部 〒165-8555 東京都杉並区永福 1-9-6
- 6、審査基準 大会趣旨を踏まえたうえで、審査員は弁士が主張したことのみを審査する。
論旨 20 点 質疑応答 12 点 声調態度 8 点

論理性・・・重要性 8 点、現状分析 6 点、解決性 6 点

質疑応答・・・回答の的確さ、正確さ、簡潔さの 3 点から総合的に判断

声調態度・・・文章表現 4 点、声量・抑揚・身振り・姿勢 4 点

※明治大学の第一弁士を基準弁士とし、その論旨を10点（重要性4点、現状分析3点、解決性3点）、質疑応答6点、声調態度4点とする。

※聴衆賞は、聴衆全員から「一番優れた弁論」をしたと思う弁士に投票して貰い、一番投票数の多かった弁士に授与する。

7、審査員 出場弁士の団体に所属する2年生以上の学生が務める。各団体につき審査員は1名とし、名の弁士を出場させる団体でも審査員は1名とする

8、審査方法 ・優勝、準優勝、3位

審査の公平性を期するため、審査員はその所属する団体の弁士以外を審査する。各審査員の得点のうち、最高得点と最低得点を除外した者を合計し、当該弁士の総得点とする。総得点の高い弁士から順位をつけていき、上位3位以内に同点の弁士がいる場合にのみ、審査員の協議によって順位を決定する。

・聴衆賞

聴衆全員に、投票用紙を配布する。各人が「一番優れた弁論」をしたと思う弁士1名に投票する。最も得票数の多かった弁士に聴衆賞を授与する。なお、聴衆賞において同点の弁士がいた場合は、審査員の協議によって賞を決定する。

以上

第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会

出場申込書

フリガナ _____

氏名 _____

大学・学部・学科・学年

演題名

住所

携帯番号

メールアドレス

生年月日

出身

本大会に望む意気込み

尊敬する人は？

最近気になるニュース

将来の夢

※ **6月1日必着**で下記の住所にご発送ください

明治大学雄弁部 〒165-8555 東京都杉並区永福 1-9-1

第十五回紫紺杯争奪全国学生雄辯大会

出場申込書

フリガナ _____

氏名 _____

大学・学部・学科・学年

演題名

住所

携帯番号 _____

メールアドレス _____

生年月日 _____

出身 _____

本大会に望む意気込み

尊敬する人は？

最近気になるニュース

将来の夢

※ **6月1日必着**で下記の住所にご発送ください

明治大学雄弁部 〒165-8555 東京都杉並区永福 1-9-1